

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	23	利用者の言葉や表情・家族から得られる利用者の新たな情報等は日々の記録にしっかりと記入し申し送り等も出来ているが、その情報をアセスメントシートに記載するところが無く、新たな情報を得ても日々の記録にはあってもアセスメントに反映できていない。その為、それをケアプランに活かしたり、日々のケアの中でも全スタッフが統一したケアを実践する事ができていない。	事業者のスタッフが使いやすく、得た情報を記入していく事で誰が見ても利用者の新しい情報が分かり、それを日々のケアやケアプランに反映させていける様にアセスメントシートを見直し、事業所独自のアセスメントシートを作り上げていく。	カンファレンス等でアセスメントの重要性を話し合い、全てのスタッフが同じ意識の中で今使用しているアセスメントシートの良い所・悪い所等を話し合い、スタッフ皆でアセスメントシートを作り上げていく。	3 か月	
2	20	利用者の本当の希望や要望を日々の関わりの中で引き出せても、それがその場限りのものになってしまっており、実行に移せていない。上記のアセスメント同様、日々の記録に記録がされていてもアセスメントに記載されない為、話を聞いたスタッフの記憶の中だけのものになっている。	せっかく利用者から引き出した希望や要望を実現できるように、たとえ困難であっても全てのスタッフや利用者・家族、関係する方々も含め、どうすれば実現できるのか知恵を出し合える関係作りに努める。	利用者・家族との信頼関係の構築に努め、利用者の希望や要望をアセスメントシートに記載していく事で、全てのスタッフが利用者の希望や要望を実現できるように情報を集めたり、関係する方々に協力を仰いだり出来るようにする。	3 か月	
3	4	運営推進会議は地域の方の意見を多数頂き、大変盛り上がるが、最終的にはグループホームに対する感想や労いの様な言葉が多く、「こうすれば良くなるのでは?」といった建設的な話や次につながる話題が少ない。地域の方に、グループホームの事や認知症の理解を得る為には我々の話だけではなく、もっと利用者に関わる時間を持っていただく事が大切であると思う。	地域の方と利用者とが関われる機会をもっと多く取れるように努め、グループホームや認知症についての理解を深めると共に、運営推進会議では関わりの中で地域の方が感じた事・意見を引き出しながら話し合い、それをケアに活かす事で継続的な話ができるようにする。	地域活動への参加やホーム行事の案内等いつも行っている事に加え、普段からホームに寄っていただけるように、例えばホームで行えるクラブ活動への参加の案内や地域の方が行っている生き生きサロンや様々なボランティアグループとの交流をはかる事で少しでもグループホームに視線が向くようにする。	6 か月	

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(該当するものすべてに 印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="checkbox"/>	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者へサービス評価について説明した
		<input type="checkbox"/>	利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="checkbox"/>	その他()
2	自己評価の実施	<input type="checkbox"/>	自己評価を職員全員が実施した
		<input type="checkbox"/>	前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="checkbox"/>	自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="checkbox"/>	その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="checkbox"/>	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="checkbox"/>	評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="checkbox"/>	対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="checkbox"/>	その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="checkbox"/>	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	その他()
5	サービス評価の活用	<input type="checkbox"/>	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="checkbox"/>	その他()